

整形外科 人工股関節置換術を受けられる					様				
イベント	入院前日まで	入院日	手術当日（手術前）	手術当日（手術後）	手術後1～3日目	手術後4～9日目	手術後10日目	手術11～17日目	退院日
月日		月 日	月	日					月 日
到達目標	手術に向けて不安が軽減できる			手術後に起こる苦痛が最小限になる			自立度に応じた日常生活を行うことができる		退院後の生活がイメージできる
治療薬剤	・手術日当日の薬は、手術に影響するため医師の指示に従ってください。 	・持参した薬は、薬剤師に預けて下さい、確認します。 ・確認した薬は、看護師がお返しします。 ・薬の内服は医師の指示によります。 ・弾性ストッキングの説明とサイズを測定します。洗い替えの購入をお願いします。	・医師から指示された薬のみ使用します 	・手術した足は 脱臼予防 のため 股間枕 で固定します。 ・両足に弾性ストッキング、血栓予防の装置を装着します ・手術した足には、たまった血液を出す管が入ります。 ・点滴を3日間続けてします。	【医師の指示・状態により行います】 ・術後 1 日目より1週間、血栓予防の薬を内服します。 ・薬剤師もしくは看護師から薬の説明があります。 ・術後 2 日目に、足の血液の管を抜きます。 ・弾性ストッキングは毎日履き替えます ・血栓予防の装置は夜間のみ装着します 	・定期的に主治医または回診で、傷の状態を確認し、汚れている場合は交換します	・医師が足の傷を確認し、絆創膏を除去します	・歩行できるようになったら弾性ストッキング・血栓予防装置は終了です ・ 退院 又はリハビリ病院への 転院 に向けて医師から説明があります	【 薬剤師 】 ・薬剤師、もしくは看護師より薬の説明があります 
処置検査	・爪は短く切ってください 【 入院日までに準備して下さい 】 ☐ 現在使用中の薬 ☐ お薬手帳 ☐ ボールペン（必要書類サインのため）	・指定された時間までに、患者支援センターにお越し下さい。 *付き添いの方も一緒に来院して下さい	・手術着に着替えてください。その後 点滴 をします。 	・手術後に採血・レントゲンがあります。 ・心電図・酸素モニター、酸素マスクを装着します	・手術翌日の朝に酸素・モニターが終了します ・術後 1・3 日目に、採血をします ・術後 3 日目まで 点滴 を行います 	・術後 7 日目に採血とレントゲンがあります	・術後 10 日目CTがあります	・術後 14 日目に採血とレントゲンがあります	
リハビリ	☐ 入院生活に必要な物（アメニティの申し込みは入院後になります） ☐ 入院案内 ☐ 書類 ☐ テーブル式おむつ数枚（アメニティ利用の方は必要ありません） ☐ その他日用品 ☐ 座布団 2 枚 ☐ 靴 2 ぱら	【 理学療法士から 】 ・股関節の動きや筋力など手術前の状態を評価します			【 理学療法士 】 ・手術後1日目からベッド上で関節の運動や座位練習を開始します ・手術後2日目に足の血液の管が抜けたら車椅子へ移乗を開始します。体重の1/2まで荷重が許可され立位や平行棒での歩行練習を開始します	・術後 7 日目に全荷重が許可されます。痛みに応じて歩行器や杖で歩行練習をおこないます ・自主トレーニングの方法を指導します	・自宅退院に向け階段など自宅環境に応じた動作を練習します ・ 脱臼に注意 した日常生活動作の方法を練習します		
活動安静度			・病棟の中でのみ、歩行は自由です。 	・手術後はベッド上安静です ・定期的に、体温、脈拍、血圧などを測定します ・横を向く時は、ナースコールで看護師を呼んでください。 	・自身で動く許可があるまでは、看護師の介助が必要です ・車椅子に移乗する時は、内股にならにように足の間に座布団枕を挟んで移動します。 ・術後 7 日目、日中は股間枕から座布団枕になります。座布団枕を挟んで横向きになる練習をします。	・術後 14 日目、終日座布団枕になります。 			
食事			・手術時間により欠食・水分制限の指示があります。 	・ 手術後の水分開始時間 は医師の指示により看護師が説明します。それまではお待ちください	【 管理栄養士 】 ・手術翌日から食事を開始します ・栄養士が訪問し、病状や嗜好に適した食事を提供します ・食事の選択ができます（医師の指示や食種・アレルギーによっては選択ができないものもあります）			・食事は、退院時の医師の指示に従ってください	
清潔		・手術開始時間により、シャワーが使用できます	・午後の手術の場合、午前中にシャワーに入ります 		・午前中に体拭きをします	・週1回平日に洗髪・足浴をします ・午前中に体拭きをします	・医師の許可によりシャワー浴が開始となります		
排泄		・排便がなければ、午前手術の場合前日、午後の場合当日の朝に洗腸をします	・緊急入院の場合は、痛みの程度により手術前に尿管を入れることがあります。	・手術室で尿管を入れます	・術後 2 日目で車椅子移乗ができれば、尿管を抜きトイレで排泄します ・それまではベッド上での排泄になります	・痛み・リハビリの状況によりトイレで排泄できます			
看護	手術に向けて不安が軽減できるよう支援していきます			手術後に起こる苦痛を最小限にできるよう看護します			自立度に応じて日常生活の援助をしていきます		退院又はリハビリ転院に向けて支援していきます
		入院による環境の変化や身体への負担が軽減出来るよう環境調整を行います							
患者さん・ご家族への説明	・ご不明な点は、お電話ください ・病院代表 0568-76-4131 入院前日までは整形外科外来、入院当日は6E病棟にお問い合わせください 	【 医師から 】 ★入院の説明と治療の説明があります。（外来でお済の方はありません） 【 看護師から 】 ★説明後、「入院診療計画書」、「同意書」にサインをお願いします（外来で説明がお済の方は、サイン記入後、提出してください） ★安全確認のため、患者識別のリストバンドをつけていただきます ・病棟、入院中の生活、治療の流れを説明します	・付き添いの方は、手術終了まで病室またはディルムでお待ちください ・術後2日目の来棟が困難なご家族の場合はDVDの視聴をしていただくことがあります 【 医師から 】 ★手術直後の説明は主治医よりあります ★手術後、状態が安定していれば、付き添いの方は帰宅していただけます	【 看護師から 】 ・手術後2日目に、ご家族と「日常生活動作について」のDVDを視聴します ・リハビリ転院が決まった場合、前日までに着替えの持参をお願いします。 	【 医師から 】 ★ご希望や、必要に応じて、経過の説明をいたします 【 看護師から 】 ・ご希望や、日常生活に応じて説明をいたします ・必要により退院調整看護師がお話を聞きます 	【 看護師から 】 ★「退院療養計画書」を基に退院後の生活、次回外来の説明があります ・退院は午前10時までにあります。転院の場合は転院先から時間指定があります。転院に必要な書類をお渡しします。 ・事務員が請求書を届けます ★病室内点検の後退院となります			
患者さんの状態により、スケジュール内容が多少異なる場合があります。経過についてはその都度、個別に説明いたします。					患者バス改訂：2021年6月 2025年6月改訂 小牧市民病院				